

山でクマと会わないとために

①入山しようとする地域で クマの出没情報はないか注意する。

府広域振興局や市町村、地元住民から情報を集めて入山してください。



②クマの形跡がある ところには行かない。

新しいクマの糞、足跡などを見つけたらあわてず注意しながら行動してください。

林外の安全な場所が近くにある場合は、すぐに移動してください。

③突然クマと出会わないよう、 自分の存在を知らせる。

クマは臭覚が優れ、耳も人間より優秀です。たいてい人が先に人間の接近を知れば遠ざかるので、笛や鈴、ラジオを鳴らして歩きましょう。

④クマが活発に行動する朝夕の行動は特に注意を。

朝夕、人の活動が静まる時間帯にクマは行動が盛んになります。朝夕の山中での行動は十分注意してください。

⑤霧や風の日、川の近くでは注意する。

山中でこのような場面ではクマも感覚能力が発揮できず、人の気配に気づかず近くまで接近してしまうことがあります。

⑥子グマを見たら絶対に 近づかない。

近くに必ず親グマがあります。近づいたりすると子グマを守るために襲ってくることがあります。すぐにその場から立ち去りましょう。



▲木の実を食べた後のクマの糞

家の近くにクマを 引き寄せないために

①家の周りには残飯を捨てないでください。

クマは、腐りかけた肉なども大好きです。

コンポストから出てくる悪臭はクマを呼び寄せることがあります。



②キャンプ地等 ではゴミや残飯 の管理を徹底してください。

味が付いた袋や空き缶などもクマを呼び寄せることがあります。

臭いが出ないようビニール袋に密封して持ち帰ってください。



③ハチの巣は取り除く。

クマはハチミツが大好物です。ハチの巣はクマを呼び寄せるものになりますので取り除きましょう。

会ったときに あわてない 興奮させないために

①あわてない。

遠くにいるだけなら心配はありません。そっと立ち去りましょう。



②騒がない。

大声を出さない。石や棒を投げない。興奮させるだけです。



③威嚇行動には注意する。

前進と後退を繰り返して威嚇することができます。

④そっと下がる。

距離はお互いの興奮を鎮めることになります。できるだけゆっくり離れてください。

⑤走って逃げない。

十分離れるまでは背中を見せて逃げるのは厳禁です。クマは本能的に襲ってくることがあります。